

9. 中国（地域別調査機関：公益財団法人中国地域創造研究センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計動向関連 (中国)	◎	スーパー（店長）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの影響による巣籠り需要で売上が良い。
	○	一般小売店〔眼鏡〕（経営者）	来客数の動き	・遠方からの来店客が徐々に戻りつつある。
	○	スーパー（店長）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の解除が近づき、客の週末の外出機会が増加傾向にある。相変わらずまとめ買いの傾向はあるが、午後から夕方にかけて来客数が増加傾向で、週末は広範囲からの集客ができています。春に向け、行楽の機会も前年より多くなりそうな気配があり、地域での行事も増えているようである。
	○	スーパー（財務担当）	単価の動き	・まん延防止等重点措置の延長により、客の来店頻度は低下しているものの、1回当たりの買上点数が増え、結果として売上がやや増加している。
	□	商店街（代表者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が減少しない。客が必要な商品しか購入せず、ゆっくりと買物をしていない。
	□	一般小売店〔食品〕（経営者）	来客数の動き	・行政が主導するキャッシュレス・消費者還元事業の影響で、来客数の増加と客単価の上昇が著しかったが、その後は、従来どおりの来客数、客単価に落ち着いている。
	□	一般小売店〔印章〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株のまん延で来客数が減少している。
	□	百貨店（経理担当）	販売量の動き	・天候には恵まれたが、まん延防止等重点措置の影響もあり、売上は前年並みである。以前からネット販売、移動販売、商品の配達などを行っているが、それらの売上実績は全体の落ち込みをカバーできるほどではない。
	□	百貨店（売場担当）	販売量の動き	・200万円超えの美術品や数十万円のブランドバッグが売れるなど売上は好調であるが、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着かないことやウクライナ情勢が景気に影響を与えている。
	□	スーパー（店長）	来客数の動き	・来客数の改善がみられず、売上につながらない状態が続いている。
	□	スーパー（店長）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の影響で購入単価が上昇している。
	□	スーパー（店長）	来客数の動き	・客単価は上昇しているが、来客数は半年間、前年を僅かに下回る状況で推移している。
	□	スーパー（店長）	単価の動き	・まん延防止等重点措置の影響で、客の来店頻度は低下しているが、客単価は前年比101%で推移している。トータルでは前年並みとなっている。
	□	スーパー（販売担当）	来客数の動き	・来客数、客単価に大きな変化はなく、現状が続く。
	□	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・来客数は前年を上回っているが、前々年までは回復していない。
	□	コンビニ（副地域ブロック長）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が長引き、来客数の減少が続いている。市内中心部でもリモートワークが増えている影響で平日の来客数が伸び悩んでいる。
	□	コンビニ（支店長）	来客数の動き	・来客数は平日は前年並みであるが、週末、特に日曜日は落ち込みが大きい。
	□	家電量販店（店長）	販売量の動き	・来客数は依然として前年を少し下回っており、売上に関しては大物家電の販売状況が悪く、前年を超えることはない状況である。来客数に見合った売上にならない状態が続いている。
	□	家電量販店（販売担当）	販売量の動き	・来客数が減っている。
	□	乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・新型車が投入され販売量は上向きであるが、整備点検などの来客数は減少している。
□	乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・決算期なのでフェア誘客を行っているが、客の来場が例年より悪い。また、商品車も台数がそろっていない。	
□	乗用車販売店（営業担当）	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大の影響なのか、来客数が圧倒的に少ない。	

□	乗用車販売店 (店長)	お客様の様子	・来客数に変化はなく、外出自粛の影響が残っている。
□	住関連専門店 (営業担当)	来客数の動き	・特に年配者の来店頻度が低下している。
□	その他専門店 [時計] (経営者)	単価の動き	・まん延防止等重点措置期間で来客数は少ないが、目的買いの客が前月より多く、客単価が上がっている。
□	その他小売 [ショッピングセンター] (管理担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスが終息に向かう兆しがほとんどなく、客の動きも土日以外は大きく変わっていない。客が現状に慣れている様子が見受けられるが、感染対策を継続することで安心をアピールし、少しでも来客数増加を目指す必要がある。目的買いの客の人数はほとんど変わっていないので、少しでもついで買いが増える環境を作りたい。
□	放送通信サービス (総務経理担当)	お客様の様子	・利用料金の延滞を注視しているが、ここ2～3か月で大きな変化はない。
□	通信会社 (企画担当)	お客様の様子	・まん延防止等重点措置が長引くなか、客が現状の生活スタイルに慣れ、アフターコロナの生活を描きにくい状況が続いている。これから年度末、新年度を迎え、生活を切り替えるための物資を調達しようという気持ちが薄いように感じる。
□	通信会社 (経理担当)	お客様の様子	・サービスの提供エリア拡大に伴い、客が増えているものの、新型コロナウイルスの影響もあって特に変化は感じられない。
□	ゴルフ場 (営業担当)	お客様の様子	・コンペの予約が減少しているものの、個人客の予約が増加しているため、予約状況に変化はない。
□	競艇場 (企画営業担当)	販売量の動き	・3か月前と同様、インターネット投票の売上が順調である。
□	設計事務所 (経営者)	お客様の様子	・新型コロナウイルス禍になってから、新築住宅の引き合いが少ない状況が続いている。
□	設計事務所 (経営者)	お客様の様子	・新築の住宅コストが上昇し、客が様子見をしている。また、資金的に厳しい客が中古市場へ流れているが、手頃な物件の流通が少なく、停滞気味である。
□	住宅販売会社 (従業員)	お客様の様子	・新型コロナウイルスの感染再拡大で、イベント来場や商談に慎重な雰囲気客が多い。
▲	商店街 (代表者)	来客数の動き	・新型コロナウイルス第6波になり、行政からのアナウンスも効いているのか人の流れが悪く、来客数が激減している。用心して人が出てこないため、来客数にも影響している。
▲	商店街 (理事)	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響が続いているため、景気はやや悪くなっている。
▲	一般小売店 [靴] (経営者)	販売量の動き	・11月から年末にかけてはギフト需要があったが、年明けからは例年どおりに戻っている。
▲	一般小売店 [茶] (経営者)	販売量の動き	・まん延防止等重点措置は解除されたが、依然、学校などでクラスターが発生しており、県民性なのか、自粛ムードが続いている。
▲	百貨店 (営業担当)	お客様の様子	・客は気晴らしに来店するだけで購買意欲がない。客は目的はないが楽しみたい様子で、セール最終価格でも購入に至らない。
▲	百貨店 (営業担当)	来客数の動き	・前年11月頃からは新型コロナウイルスも一旦収まり、客の外出機会が増え、来客数が回復し、衣料品の動きも少しずつ良くなっていたが、まん延防止等重点措置の発出された1月中旬から2月下旬現在まで来客数が減少し、平日は閑散としている。
▲	百貨店 (売場担当)	お客様の様子	・2月についてはまん延防止等重点措置に加えて冬季北京オリンピック観戦での外出抑制の動きが顕著に表れたように感じる。特に婦人衣料販売が大幅な不振となっている。
▲	百貨店 (外商担当)	お客様の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の急激な感染拡大により外出自粛が増え、来客数が大幅に減少している。外販活動においても訪問不可の客が増えている。
▲	スーパー (総務担当)	販売量の動き	・来客数と客単価に変化はないが、価格の影響なのか、購入点数が減少している。

▲	スーパー（業務開発担当）	来客数の動き	・来客数が8ポイントも減少しているが、客単価が上昇し、売上は前年並みとなっている。相次ぐ商品の値上げで、客が買物に行かず、必要な物だけ買う習慣が定着している。
▲	スーパー（販売担当）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置の影響で売上は前年比94%、来客数は前年比97%となっている。また、この時期の核となるバレンタイン商戦においては、客の意識の変化でこれまでのような盛り上がりには欠ける結果となっている。
▲	コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・12～1月は景気が回復傾向であったが、2月になって県内の新型コロナウイルスの新規感染者数が急増している影響で外出自粛要請があり、来客数が減少し、売上も低下している。
▲	衣料品専門店（経営者）	それ以外	・現内閣になって株価が下がり、各所から不満を聞いている。経済政策の立て直しが必要に感じる。
▲	衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・地方でも、新型コロナウイルスの新規感染者数が増加し、客が外出を控えている。
▲	家電量販店（店長）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置の適用で、来客数が減少している。
▲	家電量販店（企画担当）	来客数の動き	・来客数が前年比7～8割程度となっており、売上は厳しい状況が続いている。
▲	乗用車販売店（統括）	販売量の動き	・2月の販売量は前年比90%と依然厳しい状況が続いている。
▲	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・新型コロナウイルスの新たな大流行やいろいろな制限が増えたことで景気が冷え込んでいる。
▲	自動車備品販売店（経営者）	販売量の動き	・まん延防止等重点措置のため来客数が激減している。
▲	その他専門店〔和菓子〕（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルス第6波の影響で来客数が増えない。
▲	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの新規感染者数が急増し、客にかなりの警戒心があり、来客数の減少につながっている。
▲	都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルス第6波の影響は予想以上で、来客数の減少が続いている。新型コロナウイルスの影響を受け続けていることで企業の体力がもたなくなっている状況が見受けられる。
▲	タクシー運転手	販売量の動き	・まん延防止等重点措置の影響で、売上は12月の半分になっているものの、夜の営業を続けている店のお陰で夕方以降の売上はゼロではない。
▲	通信会社（工事担当）	お客様の様子	・客の動向から判断すると、景気は良くない。
▲	通信会社（営業担当）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置の延期で客の購買行動が緊縮状況にあり、以前の緊急事態宣言下より新型コロナウイルスの新規感染者数が多いことから、景気は更に悪化している。
▲	設計事務所（経営者）	お客様の様子	・建築工事費について相見積を取ると、計画時の予定額より全体的にコストアップしており、予算の組み替えや設計変更時間に掛かって、なかなか契約まで至らない状況が増えている。
▲	住宅販売会社（営業担当）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の影響で入出が少ない。
▲	住宅販売会社（営業所長）	来客数の動き	・情報入件数の減少が顕著に出てきている。資材、生活物資、エネルギー関連の値上げなど、消費者の負担が増している。
×	商店街（代表者）	単価の動き	・来客数が少なく、客から購買意欲が感じられない。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の影響で経営が厳しい。
×	商店街（代表者）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が適用されてから、飲食店を中心に景気は悪くなっている。
×	一般小売店〔洋裁附属品〕（経営者）	来客数の動き	・例年1～2月は売上が少ない月で、新型コロナウイルスの影響もあって暇な日が続いている。
×	百貨店（営業担当）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの感染拡大が続いており、来客数が前年を下回る日が続いている。

×	百貨店（営業企画担当）	お客様の様子	・前月中旬から新型コロナウイルスオミクロン株の感染が拡大し、天候面でも雪の日が多かったことから、来客数が減少し、衣料品の売上不振がひどくなってきている。
×	衣料品専門店（代表）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が延長されたことにより、来客数が激減している。
×	その他専門店 [布地]（経営者）	お客様の様子	・2月は新型コロナウイルスの新規感染者数が激増し、まん延防止等重点措置が出ている状況で街に人が出てこない。
×	その他専門店 [土産物]（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染が拡大し、客が外出を控えている。飲食店もまん延防止等重点措置で休業しているところがほとんどなので、野菜や魚の仕入れに來ない。
×	高級レストラン（事業戦略担当）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の延長により休業中である。
×	一般レストラン（経営者）	お客様の様子	・まん延防止等重点措置の適用に伴う時短要請で、21時以降の売上がなくなったため、売上に苦戦した前年の70%まで落ち込んでいる。新型コロナウイルスオミクロン株の影響で、週末のファミリー層の利用が激減している。
×	一般レストラン（経営者）	それ以外	・ロシアのウクライナ侵攻で景気の状態が見通せない。
×	一般レストラン（店長）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の適用の影響を大きく受けており、2か月以上見ていない常連客も多い。21日からアルコールの提供が緩和されたが、すぐに客が戻ってくるわけではなく、まだまだ警戒感が強い印象を感じる。来客数は5割程度しか回復していない。
×	バー（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスの影響で客の動きが悪い。
×	観光型ホテル（営業担当）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が適用され、県民割や隣県割が停止となったため、キャンセルが続出している。
×	観光型ホテル（副支配人）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置で施設が休館となり、客の受入れが全くない状態が続いている。
×	都市型ホテル（企画担当）	来客数の動き	・景気が新型コロナウイルスの新規感染者数の増減、まん延防止等重点措置や緊急事態宣言などに左右されることは明らかで、人の動きにも顕著に表れてきている。ただ、まん延防止等重点措置の期間中であるが、売上の落ち込みは以前ほどではない。企業や法人の宴会利用は敬遠されているが、レストランや宿泊利用の個人客や出張者の利用は安定している。
×	都市型ホテル（総支配人）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置が適用され、個人、団体共に予約のキャンセルがあり、新規予約も伸び悩んでいることから、売上が落ち込んでいる。また、大都市や近隣県のまん延防止等重点措置の延長で3月上旬までは景気回復に期待できない。
×	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・新型コロナウイルスだけでなく海外の情勢も悪く、旅行業にとっては何もすべきことがみえない。
×	旅行代理店（支店長）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の影響で1～3月上旬までの予約はほぼキャンセルとなり、団体需要もなく非常に厳しい状況が続いている。現時点では、景気の先行きは不透明であるが、Go To Travelキャンペーンを始め、旅行関連施策の再開を期待している。
×	タクシー運転手	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の適用で、夜の飲食の客だけでなく、昼間も人通りがかなり減っている。
×	タクシー運転手	お客様の様子	・新型コロナウイルスの新規感染者数が増え、飲食店でのクラスター発生などもあり、売上が以前より50%ほど減少している。
×	タクシー運転手	来客数の動き	・午前中から夕方にかけての乗客数は多いが、新型コロナウイルスの影響で夜の動きはない。
×	通信会社（広報担当）	お客様の様子	・客の買物への意欲等は感じない。
×	テーマパーク（業務担当）	来客数の動き	・まん延防止等重点措置の延長で客の動きが悪い。
×	美容室（経営者）	来客数の動き	・人通りがなくなり、高齢者や若者は濃厚接触を心配して来店頻度が低下し、来客数が減少している。

	×	美容室（経営者）	来客数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の状況が身近になり、客の来店頻度が低下している。
企業 動向 関連	◎	輸送用機械器具 製造業（経営者）	受注量や販売量 の動き	・年度末で地元の自動車メーカーの動きがあるため、部品の製造が忙しくなっている。
(中国)	○	化学工業（総務 担当）	取引先の様子	・現状は良くなっているが、ウクライナ危機により受ける影響を注視している。
	○	金属製品製造業 （総務担当）	受注量や販売量 の動き	・工作機械業界の客先からの受注が増加しており、納期対応のため超過勤務を行っている。
	○	輸送用機械器具 製造業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・受注量が増加傾向にある。
	○	輸送業	受注量や販売量	・客からの受注が増えている。
	○	輸送業（業務推 進担当）	受注量や販売量 の動き	・業種ごとに濃淡はあるが、受注量や販売量が増えている。
	○	不動産業（総務 担当）	それ以外	・前月と比べ来客数が約6%、成約件数は約13%増加となっている。
	○	コピーサービス 業（管理担当）	取引先の様子	・年度末の特需の商談が若干出てきているが、新型コロナウイルス流行前の件数とは比べものにならないほど少ない。
	□	農林水産業（従 業員）	受注価格や販売 価格の動き	・まん延防止等重点措置の適用で飲食店の自粛が続いている。
	□	食料品製造業 （経営者）	受注量や販売量 の動き	・季節商材の売上は順調であるが、極端に良くもなく悪くもない状況である。
	□	食料品製造業 （総務担当）	受注価格や販売 価格の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株が猛威を振るっており、商品の値上げをしても厳しい経営となっている。
	□	木材木製品製造 業（経理担当）	受注価格や販売 価格の動き	・景気は横ばいで売上は余り変わらないが、石油価格が少しずつ高騰していることもあり、利益面で厳しくなっている。値上げ交渉もしているが、それ以上にコストが上昇している。
	□	窯業・土石製品 製造業（総務経 理担当）	受注量や販売量 の動き	・大口案件の生産に着手し、通常品の受注も継続してあるので、高い生産水準が続いている。
	□	鉄鋼業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・受注量や売上が堅調に推移している。
	□	鉄鋼業（総務担 当）	受注量や販売量 の動き	・半導体不足の影響もあり、景気は変わらない。
	□	非鉄金属製造業 （業務担当）	受注量や販売量 の動き	・電子材料分野での受注量は3か月前と比べて変わらない。
	□	輸送用機械器具 製造業（経営企 画担当）	受注量や販売量 の動き	・物流網の混乱や半導体不足による生産調整が続いている。
	□	輸送業（総務・ 人事担当）	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスの影響が見通せない状況である。
	□	通信業（営業企 画担当）	取引先の様子	・データセンターやクラウド、ICT関連の引き合い量に前年から変化はない。サーバー機器などの更新時期に合わせて、計画的に切替えを実施していると想定される。新型コロナウイルスの感染拡大で、対面での接触が若干減ったものの、リモートでの打合せなどが盛んに行われており、取引量は余り変化はない。
	□	金融業（融資企 画担当）	取引先の様子	・地元自動車メーカーの国内生産は、半導体不足などの影響もあってピーク時の8割程度で推移している。このため、系列の地元部品メーカーの受注は伸び悩み、操業はおおむね定時にとどまっている。一方で、部品単価の上昇から売上が増加している企業もある。
	□	広告代理店（営 業担当）	受注量や販売量 の動き	・新型コロナウイルスの影響が継続しており、受注量の減少が継続している。
	□	会計事務所（経 営者）	受注量や販売量 の動き	・事業再構築補助金の取得支援業務受託や総務系バックヤードのアウトソーシング受託が堅調に推移している。
	▲	電気機械器具製 造業（総務担 当）	それ以外	・実装部品等の電子デバイスでは、現場作業員の新型コロナウイルス感染で生産に影響が出ている。また、機械装置では、部品の値上げや納入遅延が費用に与える影響が増加している。

	▲	金融業（貸付担当）	取引先の様子	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染拡大により、経済活動、消費行動は停滞し、総じて取引先の収支悪化が目立っている。
	×	建設業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・建設資材の価格上昇や納期が未定の話が頻繁に入ってくる。
雇用 関連 (中国)	◎	—	—	—
	○	民間職業紹介機関（人材紹介・派遣担当）	求職者数の動き	・2月は転職が集中する時期のため、人材紹介の登録者数は改善している。しかし、新型コロナウイルスの第6波の影響から、登録者層は在職中の人が増えている。転職のために安易に離職をする人は減少傾向である。
	□	人材派遣会社（支社長）	採用者数の動き	・求人数と求職者数は一定数をキープできているが、企業、求職者共に採用、就職に慎重になっており、採用者数が一方向に伸びない。
	□	新聞社〔求人広告〕（担当者）	周辺企業の様子	・新型コロナウイルス第6波の終息がまだ見通せず、ロシアのウクライナ侵攻等の不安材料もぬぐえない。企業の採用意欲は高いが、求人数に大きな動きはない。
	□	職業安定所（所長）	求人数の動き	・新規求人数については、食肉製造業において、新型コロナウイルスの影響により、ベトナムからの実習生入国の見通しが立たないといった理由で増員求人を受理する事例がある。ただ、求人数全体は横ばいで推移している。
	□	職業安定所（雇用関連担当）	求職者数の動き	・令和4年1月時点では、新規求職申込件数は前年同月比5.8%増加、月間有効求職者は前年同月比0.8%増加している。新規求職者数は年度末を見据えて期間満了予定者、転職希望者が増加するなど、例年並みの数字となっている。
	□	職業安定所（事業所担当）	求人数の動き	・新規求人数は前年同月比で8.0%増加している。慢性的に人材が不足している建設業、運輸業、小売業、医療・福祉で求人数が増加しているものの、宿泊業、飲食サービス業、娯楽業などは減少している。減少の大きな要因は、まん延防止等重点措置の適用である。
	□	学校〔短期大学〕（進路指導担当）	求人数の動き	・来年度の卒業予定者を対象とした新卒求人数が伸び悩んでいる。
	▲	人材派遣会社（経営戦略担当）	求職者数の動き	・新型コロナウイルスオミクロン株の感染状況により、ピークアウトが予測より遅くなっていることが景気に影響している。
	▲	求人情報誌製作会社（広告担当）	周辺企業の様子	・業種により大きく2極化している。おうち時間が増えるなか、洋裁、ネットショッピングなど家にいて楽しめることやキャンプ関係といった1人でできることに関連した業種は大きく業績を伸ばしているが、飲食や流通など外に出ないとできないことは業績が伸び悩み、輸入に頼らざるを得ない自動車関連、半導体なども停滞している。
	×	民間職業紹介機関（職員）	それ以外	・まん延防止等重点措置の延長、それに伴う飲食店の自粛営業、市井の活気の無さなど、気分的にも消費行動を抑制させる要因が多すぎる。移動制限も加わり、満席に近かった新幹線の座席も空席が目立つようになっている。